

2024 年度 健康投資推進協議会
第 4 回 HSD ワーキンググループ議事録

9 月 13 日 株式会社ヤマヲ 菅原恭子

I. 開会：事務局

II. 出席者の確認：事務局

ご欠席：古井先生、西岡様、日本水機構様、朴様、宮澤様、高木工業所様、他

途中退席：高木様、神田様

マイクオフでご参加：新発田ガス佐藤様、辻尾様

III. 座長挨拶：古井先生ご欠席の為、割愛

IV. 協議事項

(1) Well being フォーラム×地域モデル事業 進捗共有

9 月 6 日（金）開催された関東地区の報告をお願いします。

<ヤマヲ 岡部社長>（設営・パネリスト）

9 月 6 日（金）に Well-being フォーラム関東地区ということで、熊本・新潟に続いて 3 か所目、古井先生・村松先生にいろいろご協力いただき開催することができました。通常通り 1 部は社会的健康ということで森本先生に。2 部は村松先生にお話しいただき、今回は「中小企業における健康投資事業の実施効果と自治体での取り組み」ということで、視点視座を少し高く上げた中で、パネルディスカッションには高野様、末吉様にも入っていただきました。

中小企業の経営者の方が会場にも多く来られていたので、基本的には中小企業の健康投資の推進を基軸に古井先生、村松先生とも相談して進めました。

アンケート結果は以下の通り。HSD の必要性についてはほとんどの方が必要だと思っており、ロジックツリーについてやりたくないという方はゼロ。みなさん我々協議会の運動に興味を持ってくださっています。この参加者全員に、来年 2 月のシンポジウムに来ていただけるようにすればさらに内容が深まっていくと思う。やる価値があったと実感しています。

2024 9/6 (金)

2024年度 健康投資推進協議会

Well-beingフォーラム

関東地区



日 時：9月6日（金） 14：00～15：45（受付 13：30）

場 所：東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール（伊藤国際学術研究 B2F） 〒113-0033 文京区本郷 7-3-1

対 象：中小企業経営者・企業、自治体の健康投資ご担当者・商工団体・健康経営アドバイザー など

定 員：300 名（定員になり次第、受付を終了します）

参加申込：要事前申し込み（参加無料）。下記申し込みフォームまたは右のQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/Q2tEJf7FbX88rEWA8>

主 催：健康投資推進協議会

協 賛：株式会社エイトジャパン

お申し込み▼



Healthcare for Sustainable Development (HSD) という考え方。

企業として従業員のヘルスケアにこれからどのように取り組むのか。今こそ向き合ってみませんか？

プログラム

13：30 受付開始

14：00 開会

14：05 第1部 基調講演

「社会的健康とは～健康経営の心と体と社会の考えについて～」

森本 真弘（MS&AD インターリスク総研株式会社 リスクコンサルティング本部）

14：35 第2部 基調講演

「中小企業における健康投資事業の実践効果と自治体での取り組み」

村松 賢治（東京大学 未来ビジョン研究センター 客員研究員／

健康投資推進協議会 副座長／

アクサ生命保険株式会社 シニアビジネスディベロップメントエキスパート）

14：55 パネルディスカッション

～健康投資事業における中小企業での実践と地域での推進～

テーマ① ロジックツリー活用の実践と効果

テーマ② 中小企業・自治体に健康投資を推進するためには

<パネリスト>

末吉 光太郎（健康投資推進協議会 理事／みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部 副部長）

高野 美代恵（健康投資推進協議会 理事／オフィス ME 社会保険労務士事務所 代表）

岡部 栄一（健康投資推進協議会 理事／㈱ヤマヲ 代表取締役社長）

<ファシリテーター>

古井 祐司（東京大学 未来ビジョン研究センター／健康投資推進協議会 座長）

15：40 アンケート依頼

15：45 閉会

※プログラムは都合により変更になる場合があります



Healthcare for Sustainable Development (HSD)
健康投資は、全てのGoal達成への土台となる

（お問い合わせ）

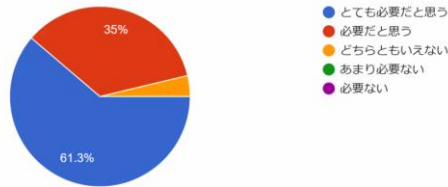
健康投資推進協議会 事務局

mail:master@sdgs-mg.org

TEL: 090-5609-0204

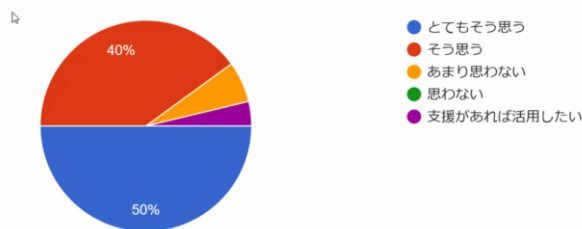
関東地区

1) 中小企業における「持続可能な開発のための健康(SD)」の必要性について、どう思いましたか？
80 件の回答



関東地区

2) 今回のHSDロジックツリーを自社においても活用したいと思いませんか？
80 件の回答



3) 今後、健康投資推進協議会が開催する「地域の...の健康投資を学ぶ機会」に興味がありますか？
80 件の回答



<村松先生> (講演者)

岡部さん、設営にあたり本当にありがとうございました。基調講演の二番で話をさせていただきました。私の中で強くイメージしたことを、そのあとのパネルディスカッションでは「実践の中でどのような課題があり、どういう方向で当協議会が進んでいるか」ロジックツリーの考え方含め広げていただきました。岡部さんのところでは社会的健康について外国人の従業員への教育という形で展開しましたが、社会的健康は企業経営者によりとらえ方が様々です。岐阜でも基調講演で理論をしっかりお伝えし、パネルディスカッションでさらに大きく広げていくようにすればよいと思います。国の健康経営優良法人認定や協会けんぽの健康宣言にある項目だけではとらえきれなかったところまで幅広く HSD の考えが広がっていくのを感じました。勉強になりありがとうございました。

<高野先生>（パネリスト）

先日はパネリストとして参加させていただきどうもありがとうございました。

冒頭の森本先生から村松先生、岡部さんとお話を聞いているうちに、どんどん進んでいるなというのを協議会に居ながらにしてさらに実感したところです。

他のところでも岡部様の許可を得てヤマヲさんの事例を紹介すると、非常に反応が良いですが、さらに取り組みを進められていることを知りました。今回、衛生委員会などに関わっている社労士仲間が参加してくれました。今まで社会的健康に目を向けていなかったのが目が覚めた思い、今後、新しい糸口になると思ったということです。また後日報告をさせていただきますと思います。

<ヤマヲ 菅原>（司会を担当）

初めて講演会での司会をさせていただきましたが、皆様のフォローのお陰でなんとか無事進行することができ、自分の成長として一歩前に出ることができました。本当にありがとうございます。また皆様と同様、今回のフォーラムは全体的に社会的健康に機軸を置いていたことが興味深く、フォーラムによって一層気づくことができました。

<ヤマヲ 岡部社長>

補足ですが、弊社で本日あった「管理社員会議」にて、この度のフォーラムの報告を行い、社会的健康や Well-being とは何か、自社のロジックツリーはこういう形で進んでいますということを社内で共有しました。健康経営をすすめるにあたり社員にどう伝えていくかがとても難しく、大事だと思います。

Sustainability

2024年9月13日
管理者会議資料

サステナビリティ推進部

■健康企業



“9月6日(金)東京大学にて、Well-being フォーラム関東地区が開催されました。”

Well-being フォーラムは、岡部社長が理事をつとめる健康投資推進協議会が主催する、健康経営普及のための講演会で、今年全国10か所開催を計画しています。「社会的健康」や「ロジックツリー」の話題を中心に、不安定なこの時代、従業員の健康にどのように取り組むかについて、金融、大学、経営者、社労士という様々な立場の専門家からの講演がありました。

岡部社長は「健康投資事業における中小企業での実践と地域での推進」と題したパネルディスカッションに登壇され、当社の健康経営のあゆみや、今後のビジョンなどを講演されました。外国人の皆さんが働きやすい環境を作るために行ってきた様々な取り組みや教育として、早くから「社会的健康」に目を向けていたことで注目されました。また健康経営の目的（どういふ会社にしたいか）・課題・結果をロジックツリーに整理し、見える化することは改善のために有効であることがあらためて議論されました。プロジェクトチームという、横の繋がりを大事にした社員全員参加のしぐみが大きな推進力となっていることも、この会議で発表しています。

当社のロジックツリーを以下に掲載します。掲示板にも貼りますので見てください。

《豊田代表》

社内推進、企業の中での発信の仕組みづくりを、やる・やらないで大きく違いますので、外部発信も同じ）そういうこともこれから何かのタイミングで話していきたいですね。

<リコージャパン 佐藤様>

参加させていただきありがとうございました。岡部さんの事例を聞き、社会的な課題の解決と会社の発展は両立で回るのがだなあと感じました。社会的健康の項目で、心理的安全性を保つための具体的な対策として日本語教室をやっているというところなど、従来の健康の概念からより拡大した Well-being の説明として、会場の皆様にも理解が得られたのではない

かと思い、印象に残りました。

<リコージャパン 高木様>

フォーラムでも途中退席しており、すべてコメントできなくて恐縮ですがよろしくお願いします。村松先生や古井先生のお話で、「今後、小さいころから健康経営の教育をしていくことが重要」という話がありましたので、私たちも、社員の子供たちを巻き込んで何かできないかと思いました。岐阜地区の会ではどうするかを考える参考になりました。

<みずほ 末吉様> (パネリスト)

菅原さん司会お疲れ様でした。このフォーラムを通し、浸透から実践の段階に移ったと感じています。岡部さんが社長としてリードされていること、リードする人とフォロアーの両方が噛み合っている企業はすごいなと思いました。皆さんもかなり自分事として聞いているようでしたので私も勇気をいただきました。ありがとうございます。

《豊田代表》

関東地区のフォーラムは、立ち位置としては他の地域よりは先を見据えた大会でしたので、2月のシンポジウムのほうにつなげていきたいと思っています。

つづいて岐阜地区の説明をいたします。

9月19日(木)14時～16時

設営と予算の関係上、唯一 Web と現地のハイブリッド開催となります。

これまでお時間を取れなかった方も一部のぞくだけでも良いので、ぜひ参加をお願いいたします。申し込んでいただいた方に URL を直前にお送りします。今回、後援として、様々な団体に集まっていただきました。そういう方々が現地で顔合わせをすることも狙いのひとつです。オンラインなのでお知り合いにお声かけをいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

アンケート結果はすべて集計して、結果をまとめ分析して、村松先生とご相談しながら事業評価の方もしていきたい。

岐阜地区の登壇者

第一部基調講演 MS&AD インターリスク総研株式会社 森本真弘様

第二部基調講演 健康投資推進協議会 代表理事 豊田将之様

パネリスト リコージャパン株式会社 高木康弘様

内藤建設株式会社社長 内藤宙様

健康保険協会岐阜支部長 豊田正康様

ファシリテーター 東京大学特任教授 古井祐司先生

2024 9/19(木)

2024年度 健康投資推進協議会

Well-beingフォーラム

東海地区



日 時：2024年9月19日(木) 14:00～16:00(受付13:30)
場 所：ぎふメディアコスモス みんなのホール(〒500-8076 岐阜県岐阜市司町40番地5)
対 象：中小企業経営者・企業、自治体の健康投資ご担当者・商工団体・健康経営アドバイザー など
定 員：(ハイブリッド開催)現地200名、オンライン500名(定員になり次第、受付を終了します)
参加申込：要事前申し込み(参加無料)。下記申し込みフォームまたは右のQRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/t7RQWRzPrAXEUWYC8>
主 催：健康投資推進協議会
後 援：岐阜県、岐阜商工会議所、全国健康保険協会岐阜支部、岐阜産業保健総合支援センター、岐阜県中小企業団体中央会、
一般社団法人東海木造住宅協会、一般社団法人岐阜みらいポータル協会
協 賛：株式会社エイトジャパン

お申し込み▼



Healthcare for Sustainable Development (HSD) という考え方。

企業として従業員のヘルスケアにこれからどのように取り組むのか。今こそ向き合ってみませんか？

プログラム

- 13:30 受付開始
14:00 開会
第1部 基調講演
「社会的健康とは～健康経営の心と体と社会の考えについて～」
森本 真弘 (MS&AD インターリスク総研株式会社 リスクコンサルティング本部)
14:30 第2部 基調講演
「企業における見える化された健康投資事業の実践と効果」
豊田 将之 (健康投資推進協議会 代表理事)
14:50 第3部 パネルディスカッション
事例紹介 (1) リコージャパン株式会社 (2) 内藤建設株式会社
テーマ① 健康投資のきっかけ/支部との連携の始まりについて
テーマ② 社内で推進した時の工夫点とその効果
テーマ③ 岐阜で健康投資を盛り上げるために
＜パネリスト＞
高木 康弘 (リコージャパン株式会社 人事・コーポレート本部 人事センター
人財サポート部 働き方改革グループ)
内藤 宙 (内藤建設株式会社 代表取締役社長)
豊田 正康 (全国健康保険協会岐阜支部 支部長)
＜ファシリテーター＞
古井 祐司 (東京大学 未来ビジョン研究センター/健康投資推進協議会 座長)
15:50 総評 豊田 将之 (健康投資推進協議会 代表理事)
アンケートのお願い
16:00 閉会

※プログラムは都合により変更になる場合があります



Healthcare for Sustainable Development (HSD)
健康投資は、全てのGoal達成への土台となる

(お問い合わせ)

健康投資推進協議会 事務局

mail:master@sdgs-mg.org TEL: 090-5609-0204

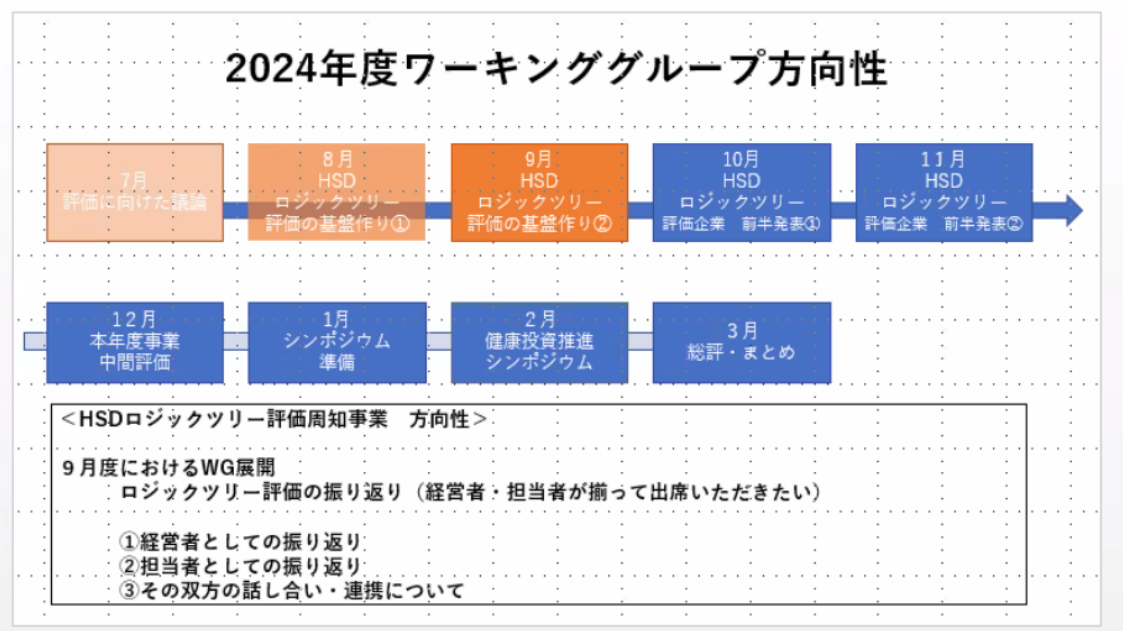
(2) ロジックツリーモデルについて

昨年夏ごろロジックツリーが始まり、確認のタイミングは皆様にお任せしていました。そろそろ1年の振り返りと、次はどうブラッシュアップするかを考えていく段階です。

今年から新たに2社様がWGに参加されています。本日の会議の趣旨としては先輩企業がやった結果と評価を伝え、新企業は新しくロジックツリーを始めるという予定だったのですが、残念ながら今日のご欠席のご連絡をいただいております。

本日は以下の視点でご感想をお願いいたします。

- ① 経営者としての振り返り
- ② 担当者としての振り返り
- ③ 双方の話し合い、連携について



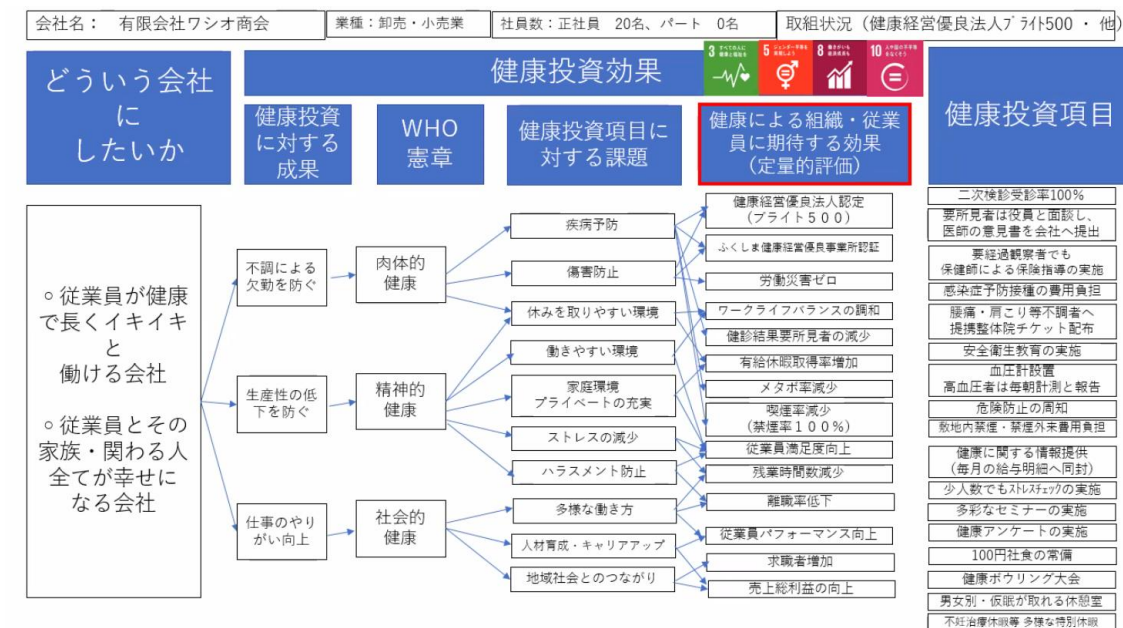
<ヤマヲ 菅原>

フォーラムで村松先生、末吉様のお話を聞いて「見える化」が改善に必要であることをあらためて把握しました。例えば「外国人への日本語教育」については最初「精神的健康」に入っていたが、ツリーの中で整理していくうちに「社会的健康」であることに気づいた。結果の評価をまとめて言うと、1つの項目を除いてあと全部が達成できたため、とりあえず成功体験につながり良かったと思う。今後ブラッシュアップする方向としてはブライト 500 取得を目標に据えた項目を増やしていきたい。①社会的貢献と、経済的発展の両立はできるんだということ、②地域に向かって発信すると「見ました。いい会社。ありがとう」など言ってもらったりして手ごたえがあったので、活動をやっていてよかったと思います。

<ヤマヲ 岡部社長>

ロジックツリーがあることによって明確に共通言語で話せる。これを見ながらみんなで考えていく。プロジェクトチーム活動（部署を超えた横の繋がりで社員を6つのグループに分け、製造やサステナビリティに関する課題を解決する）があるので、現場からの考えも聞きながらやっています。経営者からトップダウンでやっていく段階はもう過ぎていると考えています。

<ワシオ商会 鷲尾様>



会社名: 有限会社ワシオ商会	業種: 卸売・小売業	社員数: 正社員 20名、パート 0名	取組状況 (健康経営優良法人)
ロジックツリー評価シート			
健康投資項目	健康による組織・従業員に期待する効果 (定量的評価)		
	目標	結果 (2023年12月)	
二次健診受診率100%	健康経営優良法人認定 (プライト500): 認定継続	健康経営優良法人認定 (プライト500):	
要所見者は役員と面談し、医師の意見書を会社へ提出	ふくしま健康経営優良事業所認証: 認定継続	ふくしま健康経営優良事業所認証:	
要経過観察者でも保健師による保険指導の実施	労働災害ゼロ: 0を継続	労働災害ゼロ:	
感染症予防接種の費用負担	ワークライフバランスの調和: 継続	ワークライフバランスの調和:	
腰痛・肩こり等不調者へ提携整体院チケット配布	健診結果要所見者の減少: 26.3%→21%	健診結果要所見者の減少:	
安全衛生教育の実施	有給休暇取得率増加: 62%→70%	有給休暇取得率増加:	
血圧計設置・高血圧者は毎朝計測と報告	メタボ率減少: 31.6%→26.3%	メタボ率減少:	
危険防止の周知	喫煙率減少 (禁煙率100%): 継続して目指す	喫煙率減少 (禁煙率100%):	
敷地内禁煙・禁煙外来費用負担	従業員満足度向上: 継続	従業員満足度向上:	
健康に関する情報提供 (毎月の給与明細へ同封)	残業時間数減少: 平均22時間→平均20時間	残業時間数減少:	
少人数でもストレスチェックの実施	離職率低下: 0%を継続	離職率低下:	
多彩なセミナーの実施	従業員パフォーマンス向上: 継続	従業員パフォーマンス向上:	
健康アンケートの実施	求職者増加: 1名以上採用予定	求職者増加:	
栄養士監修 100円健康社食の常備	売上総利益の向上: 10%増加を目指す	売上総利益の向上:	
健康ボウリング大会	運動イベント参加率向上: 80%以上の参加を目指す	運動イベント参加率向上:	
男女別・仮眠が取れる休憩室			
不妊治療休暇等 多様な特別休暇			
花粉症対策			
実施	継続中	未実施	

来月、健康診断の結果待ちで、評価はまだ出ていません。マイナスなことを申し上げるのですが、社員数が少ないので、お互いの顔が見える。慣れっこになってしまうと、継続して取り組んでいくのが難しいと日々感じます。禁煙など、皆理解してはいますが、改善の数字として、目に見えて毎年急上昇するのは難しいです、良くて現状維持ですが、最近見ているとタバコを吸い始めた人も出たりして、これ以上どうすればいいのか悩んでいます。数値で出せるのは健康診断の結果が中心です。

《豊田代表》

ワシオ商会様はブラッシュアップを常に考えていらっしゃるご発言が印象的でしたが、高止まりとなった場合、これ以上に結果を見せるには何ができるか。健康経営が始まり大企業では10年そこら経過し、中小企業含めそういう悩みが出ていると思います。WGとしてもモチベーションアップのためにできることを考えたいですが、何かご意見はありますでしょうか。

＜高野先生＞

すごくレベルの高いお悩み。健康経営だけでなく、組織改革をやられていて飽きてくることはよくあります。ヒントになるのはヤマヲさんでやっているプロジェクト活動。社員が自分ごととして自ら動き提案し、経営者が良ければ認めるかたち。地道なことですが、トップダウンだけでなく、双方からの働きかけを会社が認めてくれることが社員に伝わるともっと盛り上がるのではないのでしょうか。

＜村松先生＞

ワシオ商会さんのような企業様の悩みを伺う機会が増えていると感じています。そんな中で、「もう私が指示する段階ではない」という岡部社長の発言。職場の雰囲気として、担当者がいて、社員が提案できる組織になっているか、経営者から見て組織が変わったと感じる瞬間があるのでしょうか。「健康管理」からスタートして健康管理をしっかりやってきた企業でも、これからは「社会的な健康」（経営理念やビジョンを理解しなぜこの企業で働いているか見直す機会があること。社員と家族を含めて働き甲斐・生きがいがあること）にフェイズが映ってくると良いかと思います。

＜ワシオ商会 鷺尾様＞

社員提案型という意味で、うちにも人財が欲しいと思います。

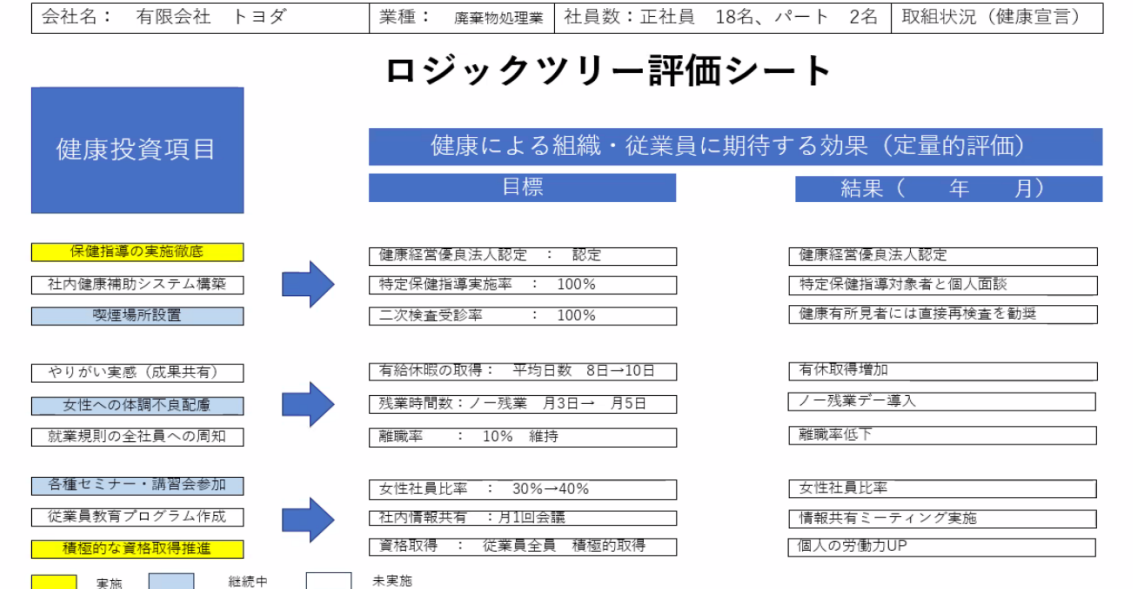
《豊田代表》

振り返って結果の良し悪しというよりは、今まさに変えたほうが良いとか、変わっていかうとする前段階で気づく、動くこと、などをリアルタイムでみなで確認できたりすることが中

小企業の集まりであるこの協議会の良いところです。
ロジックツリーの使い方だけでなく、やり取りの中で会社が変わってくることを WG の主産物としたい。役割を委譲していくことも必要かもしれません。

<ワシオ商会 鷺尾様>
社会的健康のところもう少しちょっと社員に伝えていきたいと思います。

<トヨタ 和田様>



鷺尾さんと同じくらいの従業員数で、やはり持続が難しいというのがありますが、地道に伝えてやっております。8割ぐらいはできたかなと思いますが、難しいことはどうやって従業員に理解してもらうかを経営者と話し合いながらやっていくという感じです。

このほど「置き型社食」を始めました。従業員の反応が良く、理解を得られていますので、家庭の話題で家族にも健康志向を広げてもらうようにと考えています。今月、運営協議会というのがありその中でも健康経営の話をしようと思っています。わたくし担当者と経営者豊田の両方の立場からの発信で理解してもらおうと考えています。

《豊田代表》

会議の中で、ロジックツリーが見える化したルーツとして活用できると思います。社内発信というお話に関して、岡部さんのところでは、社員を巻き込むようになるのに、何かとっかかりがあったら教えていただきたい。

《ヤマヲ 岡部社長》

和田さんがおっしゃったように経営者と担当者がタッグを組んでいくことが大事。弊社でも最初は担当を総務の社員にやってもらったが、他に人事などの仕事が多く、思うようにいかなかった。想いを持って発信したつもりが、重要性が伝わらなかった。これに対して担当者が悪いのではなく、やれる環境じゃなかったと気づきました。そのため、品質保証部から菅原を選任しサステナビリティ推進部を立ち上げました。（その結果、品質保証部では別の若手社員が大きく成長してくれた。）課題に対し、社内環境をやり易く整えることが経営者の仕事。ただやれやれというのが一番まずい。同じく健康経営の担当者が従業員に対してやれやれ言っても、職場環境を作らないと浸透しません。今年やってよかった事例に熱中症対策のクールベスト導入があったが、これも社員（プロジェクト）からの発信。環境が大事と話していたことが伝わったのかもしれないと思っています。健康経営に関わらず業務全般にいえることです。

＜村松先生＞

豊田さんと初めてお会いした時に、HP を拝見し SDG s に貢献し循環型社会に取り組むと社会に発信されていたのに感銘を受けました。もし企業の中で喫煙・タバコにフォーカスしすぎると、社員の目線が全部「健康管理」、結局はタバコという狭いところに落ちてしまう。最初の発信の仕方として、「社会」（豊田社長として一番高いところ）を掲げたうえで、今やるべきところは従業員ひとり 1 人の体調管理であり、その中で禁煙も一つの方法、という風にやっていくのが良いのかもしれないと思いました。

健康経営を工夫されている会社では、例えば高齢者が多い企業だと「健康経営をやります」よりも「皆さんがずっと元気に働いてほしい」という言い方をします。最終的には健康経営という言葉をもっと知らないがブライト 500 を取っていたりする。経営者の伝え方ひと

つで従業員の方動機付けになっているのです。

<トヨタ 和田様>

私の思っていることを豊田に伝え、豊田も私に意見を求め、とコミュニケーションを取っていますが、それを従業員に伝えるのは難しいです。禁煙を項目の一つに入れていますが、従業員側の素直な意見も聞きたい。トップダウンで持っていくのではなく、会社側がどのような意図で喫煙と言っているのかを示さないといけないので、コミュニケーションをとりながら、喫煙以外のこともいろいろ試して、その先にはみんなの健康があるんだということをわかってもらえたらなと思っています。

《豊田代表》

結果達成を出すことだけを考えてしまい、「なんのために」が抜けていると、理由がわからず反発も起きるしうまくいかない。そのためにロジックツリーの1枚目があると思います。運営協議会があるのでしたら「なんのために」を伝えるのが良いと思いました。是非その後も教えてください。

ツリーの評価の盤面では見えない部分もありその方が難しかったりもしますので、私達の方でもどういうところが重要かをまとめていきたいと思っています。

10月以降各社の評価ももう少し踏み込んでみていきたいと思っています。

(3) 報告依頼事項

<ワーキンググループ>

第5回ワーキンググループ 2024年10月11日(金) 10時00分～11時00分

第6回ワーキンググループ 2024年11月8日(金) 10時00分～11時00分

<コア会議>

第5回コア会議 2024年10月4日(金) 10時00分～11時00分

<well being フォーラム>

九州地区 2024年7月24日(水) 15時00分～16時00分

北陸甲信越地区 2024年8月7日(水) 14時00分～

関東地区 2024年9月6日(金) 14時00分～

東海地区(ハイブリッド) 2024年9月19日(木) 14時00分～16時00分

チラシ等ご要望は事務所の方へ問い合わせてください。

情報発信してきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

以上